

新・こどもと健康

No.84

2024.1.4

あけましておめでとうございます

4月から四種→五種混合、肺炎球菌ワクチンが13価→15価に

四種混合
テトラビックか
クワトロバック®
+
ヒブワクチン
アクトヒブ®

五種混合
ゴービックか
クイントバック®
※Hibの成分はアクト
ヒブと全く同一という
訳ではありません

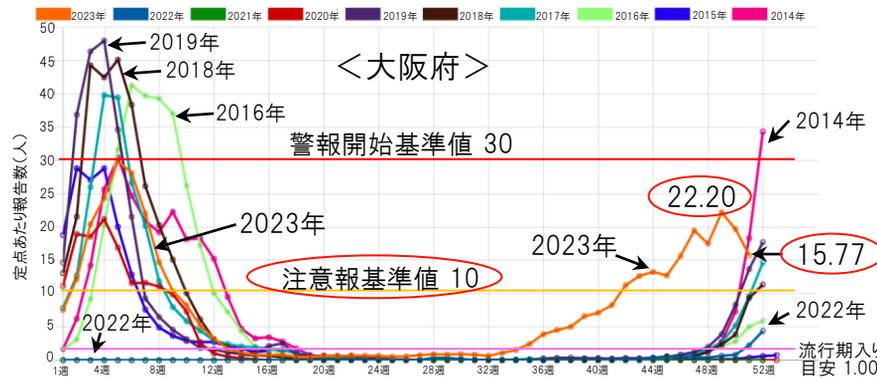
肺炎球菌(13価)
プレベナー13®

肺炎球菌(15価)
パクニユバンス®

2023年12月20日の第58回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会で、2024年4月1日から、四種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)にヒブワクチンが追加された五種混合ワクチンを定期接種で使用可能とすること、同じく4月1日から15価肺炎球菌ワクチンを定期接種で使用可能とすることが決まりました。詳細はもう少ししてから決まります。

出典：厚生労働省HP『5種混合ワクチン、小児に対する肺炎球菌ワクチンについて(第58回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会 資料1)』

インフルエンザは注意報レベルで小康状態



インフルエンザの定点当たりが大阪府では10月16日から22日の週に注意報基準値10を超え、12月4日から10日の週には22.20まで悪化したあと、一旦低下中です。堺市では10月9日から15日の週に注意報発令となり、12月4日から10日の週には24.62まで悪化し、その後、

やや低下しています。12月18日から24日の週の集計で、大阪府ではインフルエンザによる公立保育所・幼稚園・小・中学校・高等学校の休校1施設、学年閉鎖延べ21施設、学級閉鎖延べ152施設でした。大阪府の12月のインフルエンザウイルス亜型検出割合では、AH3(いわゆる香港型)とAH1pdm09(いわゆる新型インフルエンザ)がほぼ2:1で、AH3型が優位でした。

出典：大阪府感染情報センターHP『インフルエンザ定点当たり患者数10年間の比較』『インフルエンザ施設別発生状況【2023/24シーズン 第16報 12月18日～12月24日】』『インフルエンザウイルス検出数2023-2024シーズン(12月時点)』

当科の2023-24年インフルエンザ状況



当科のインフルエンザの2023-24年シーズンとして、8月16日に初めて陽性の方がいたあと、しばらくは散発的でした。10月11日以降にじわじわ増え始め、11月に入った頃からペースアップしました。11月最終週頃からやや鈍りましたが、まだ多いです。10月7日に1人だけインフルエンザB型の方がおられましたが、12月28日までに他の164名は全員A型でした。

妊婦さんにRSウイルスワクチンを接種して赤ちゃんを守る

RSウイルスは年に1~2回流行し、1歳未満(特に生後6か月未満)、心肺に基礎疾患を持つ小児、早産児などでは呼吸困難、無呼吸などの重篤な呼吸器疾患を引き起こし、入院や呼吸管理が必要になります。発症しても特効薬はなく、リスクの高い対象者には、秋から春にかけて、RSウイルスに対する特異的抗体であるパルビズマブ(シナジス®)を月1回、赤ちゃんに注射をして重症化を防いできました。

2023年11月27日に厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会が非公開で開催され、

妊娠24～36週の妊婦さんに接種をしたらRSウイルスに対する抗体が作られ、それを胎盤を通じて赤ちゃんに届けることができる、ファイザー社の『アブリスボ。』の製造・販売が承認されました。国内初の母子免疫ワクチンとなります。臨床試験での効果としましては、受診に至った重症RSウイルス関連下気道疾患のワクチン有効率は生後90日で81.8%、生後180日で69.4%でした。発売日は決まっておらず、自費での接種になりそうです。

出典：厚生労働省HP『薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会を開催します』、NHK HP『RSウイルス感染症 妊婦向けのワクチン承認へ 厚生省専門部会(2023年11月28日、ミクスOnline HP『初のRSVに対する母子免疫ワクチン「アブリスボ」など6製品を審議へ 薬食審・第二部会(2023年11月14日)』、新薬情報オンライン HP『アブリスボ筋注用の作用機序：アレックスビーとの違い【RSVワクチン】(2023年11月28日)』

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に
 高齢者の成人用肺炎球菌ワクチンの助成は今年度中まで？
 2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

当科は大阪府の外来対応医療機関です

2023年2月から
の診療時間帯
(予告なく変更する
場合があります)

9:00～10:00	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
10:00～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無
断キャンセルしないで
ください。
他の方の受診機会
を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率						
R4.2/2～	10	3+0	30%	5/30～	8	0+0	0%	9/26～	23	6+1	29%	1/23～	22	3	14%	5/22～	11	0	0%	9/18～	21	2	10%
2/7～	21	10+4	56%	6/6～	9	1+0	11%	10/3～	17	3+0	18%	1/30～	22	2	9%	5/29～	4	0	0%	9/25～	23	2	9%
2/14～	11	4+0	36%	6/13～	3	0+0	0%	10/11～	16	3+0	19%	2/6～	17	0	0%	6/5～	7	0	0%	10/2～	25	8	32%
2/21～	5	3+0	60%	6/20～	10	1+0	10%	10/17～	18	4+0	22%	2/13～	3	0	0%	6/12～	11	2	18%	10/9～	19	0	0%
2/28～	21	13+1	64%	6/27～	8	1+0	13%	10/24～	11	1+0	9%	2/20～	6	0	0%	6/19～	14	1	7%	10/16～	17	2	12%
3/7～	14	4+3	41%	7/4～	11	4+1	42%	10/31～	11	0+0	0%	2/27～	9	0	0%	6/26～	7	2	29%	10/23～	11	2	18%
3/14～	14	6+2	50%	7/11～	31	14+0	45%	11/7～	14	2+0	14%	3/6～	9	1	11%	7/3～	16	3	19%	10/30～	21	0	0%
3/21～	13	6+1	50%	7/18～	36	13+0	36%	11/14～	10	3+0	30%	3/13～	11	0	0%	7/10～	21	1	5%	11/6～	4	0	0%
3/28～	10	0+0	0%	7/25～	47	13+6	36%	11/21～	19	1+0	5%	3/20～	9	0	0%	7/18～	22	7	32%	11/13～	6	0	0%
4/4～	9	1+0	11%	8/1～	23	12+4	65%	11/27～	18	5+0	28%	3/27～	13	0	0%	7/24～	35	13	37%	11/20～	11	0	0%
4/11～	18	2+0	11%	8/8～	15	6+3	50%	12/5～	14	3+0	21%	4/3～	8	0	0%	7/31～	23	7	30%	11/27～	5	0	0%
4/18～	14	3+0	21%	8/16～	20	11+6	59%	12/12～	19	3+0	16%	4/10～	10	0	0%	8/7～	26	7	27%	12/4～	9	0	0%
4/25～	21	7+3	42%	8/22～	27	8+2	34%	12/19～	17	6+0	35%	4/17～	12	0	0%	8/16～	21	2	10%	12/11～	11	0	0%
5/2～	9	1+0	11%	8/29～	10	4+2	50%	12/26～	7	1+0	14%	4/24～	10	0	0%	8/21～	11	6	55%	12/18～	8	0	0%
5/9～	18	2+2	20%	9/5～	18	3+2	25%	R5.1/2～	14	2+0	14%	5/1～	5	0	0%	8/28～	18	3	17%	12/25～28	3	0	0%
5/16～	10	1+2	25%	9/12～	26	3+1	15%	1/9～	12	3+0	25%	5/8～	8	0	0%	9/4～	26	4	15%	計、平均	1,501	303+47	23%
5/23～	14	3+0	21%	9/20～	7	2+1	38%	1/16～	33	6+0	18%	5/15～	20	2	10%	9/11～	26	4	15%				

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。10月30日の週以降、陽性の方は出ていません。

新型コロナウイルス感染症の定点報告、じわりと増加中

定点報告数

大阪府	堺市	大阪府	堺市		
5/8～	515	39	9/4～	4,458	520
5/15～	686	78	9/11～	3,961	488
5/22～	797	82	9/18～	2,677	310
5/29～	968	117	9/25～	2,148	276
6/5～	1,256	152	10/2～	1,179	196
6/12～	1,324	179	10/9～	849	102
6/19～	1,506	177	10/16～	771	90
6/26～	1,754	211	10/23～	555	46
7/3～	2,330	263	10/30～	471	58
7/10～	3,036	346	11/6～	414	34
7/17～	4,028	467	11/13～	429	73
7/24～	4,399	480	11/20～	493	83
7/31～	4,093	534	11/27～	558	75
8/7～	3,078	446	12/4～	695	78
8/14～	3,576	384	12/11～	763	87
8/21～	3,744	455	12/18～	893	96
8/28～	4,361	535			

大阪府で約306、堺市で約29医療機関



新型コロナウイルスの定点報告は11月13日の週で大阪府では1.41まで減ったあと、12月18日の週には3.31まで悪化してきています。同じように、堺市では11月6日の週に1.17まで低下後、12月18日の週に3.31まで悪化してきています。

出典：大阪府感染症情報センターHP
『新型コロナウイルス感染症 発生状況 2023年 第19週～第51週』

1月・担当医の変更

な し